

## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社yutori 上場取引所 東  
コード番号 5892 URL https://yutori.tokyo/  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 片石 貴展  
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 瀬之口 和磨（TEL）03-6379-0667  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無（決算説明動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,360	—	113	—	35	—	24	—	△16	—
2024年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △16百万円（—%） 2024年3月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△3.57	—
2024年3月期中間期	—	—

（注）1. 当社は2025年3月期中間期より中間期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期中間期の数値及び対前年同中間期増減率並びに2025年3月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。

2. 調整後EBITDA＝（営業利益＋減価償却費＋のれん償却費＋株式報酬費用＋敷金償却費）

3. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,796	1,606	11.0
2024年3月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 635百万円 2024年3月期 652百万円

（注）2025年3月期中間期より中間期連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	—	662	—	500	—	492	—	274	—	58.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 詳細につきましては、本日（2024年11月14日）公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社（社名）株式会社heart relation 除外 1社（社名）—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	4,697,100株	2024年3月期	4,697,100株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	195株	2024年3月期	195株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	4,696,905株	2024年3月期中間期	—株

(注) 2024年3月期中間期については中間連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期中間期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来等に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用や所得環境が改善され緩やかに回復しております。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊張によるエネルギー価格の高止まり、アメリカ経済の減速懸念がある中、7月末に日本銀行が追加利上げを実施、金利差の縮小から為替が大きく円高に振れ、株価も急激に変動するなど、足元の金融市場は不安定な状況が続いております。

当社グループが属するアパレル業界におきましても、材料費や物流費の高騰に直面しており、経営環境は厳しさを増しています。特に、訪日外国人観光客の回復によるインバウンド消費は増加傾向にある一方で、物価上昇の影響により消費者の購買意欲は弱まっております。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,360,442千円、営業利益35,539千円、経常利益24,669千円、親会社株主に帰属する中間純損失16,749千円となりました。

なお、当社グループはアパレル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は3,353,474千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,422,048千円、売掛金293,532千円、商品1,315,608千円であります。固定資産は2,442,947千円となりました。主な内訳は、有形固定資産454,778千円、のれん939,773千円、商標権718,660千円であります。

この結果、総資産は5,796,421千円となりました。

## (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は2,109,947千円となりました。主な内訳は、買掛金689,529千円、短期借入金300,000千円、1年内返済予定の長期借入金429,564千円、未払法人税等110,383千円であります。固定負債は2,079,781千円となりました。主な内訳は、長期借入金1,872,377千円であります。

この結果、負債合計は4,189,729千円となりました。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,606,692千円となりました。主な内訳は、利益剰余金235,122千円、非支配株主持分917,100千円であります。

この結果、自己資本比率は11.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,422,048千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は135,905千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上16,848千円や仕入債務の増加額325,011千円等があった一方で、棚卸資産の増加額293,139千円等があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は650,468千円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出462,095千円や敷金の差入による支出62,061千円、有形固定資産の取得による支出76,145千円等があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,595,332千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,680,000千円や短期借入れによる収入300,000千円等があった一方で、短期借入金の返済による支出300,000千円等があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2024年11月13日）公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,422,048
売掛金	293,532
商品	1,315,608
前払費用	46,849
その他	275,434
流動資産合計	3,353,474
固定資産	
有形固定資産	454,778
無形固定資産	
ソフトウェア	57,834
のれん	939,773
商標権	718,660
無形固定資産合計	1,716,268
投資その他の資産	
関係会社株式	2,430
繰延税金資産	29,053
その他	240,417
投資その他の資産合計	271,901
固定資産合計	2,442,947
資産合計	5,796,421

(単位:千円)

当中間連結会計期間  
(2024年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	689,529
短期借入金	300,000
1年内返済予定の長期借入金	429,564
未払金	347,787
未払法人税等	110,383
賞与引当金	68,115
その他	164,567
流動負債合計	2,109,947
固定負債	
長期借入金	1,872,377
資産除去債務	63,753
繰延税金負債	143,651
固定負債合計	2,079,781
負債合計	4,189,729
純資産の部	
株主資本	
資本金	198,532
資本剰余金	202,216
利益剰余金	235,122
自己株式	△306
株主資本合計	635,564
新株予約権	54,027
非支配株主持分	917,100
純資産合計	1,606,692
負債純資産合計	5,796,421

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,360,442
売上原価	981,280
売上総利益	1,379,162
販売費及び一般管理費	1,343,622
営業利益	35,539
営業外収益	
受取利息	43
受取手数料	808
その他	1,138
営業外収益合計	1,990
営業外費用	
支払利息	9,098
その他	3,761
営業外費用合計	12,860
経常利益	24,669
特別利益	
固定資産売却益	27
特別利益合計	27
特別損失	
固定資産除却損	7,848
特別損失合計	7,848
税金等調整前中間純利益	16,848
法人税、住民税及び事業税	27,195
法人税等調整額	6,402
法人税等合計	33,598
中間純損失 (△)	△16,749
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△16,749

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失 (△)	△16,749
中間包括利益	△16,749
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△16,749

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	16,848
減価償却費	16,102
のれん償却額	35,217
賞与引当金の増減額(△は減少)	△200
受取利息	△43
受取手数料	△808
物品売却益	△27
支払利息	9,098
株式報酬費用	21,874
固定資産除却損	7,848
売上債権の増減額(△は増加)	1,223
棚卸資産の増減額(△は増加)	△293,139
前払費用の増減額(△は増加)	131
仕入債務の増減額(△は減少)	325,011
未払金の増減額(△は減少)	40,632
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	7,091
その他	△183,516
小計	3,345
利息の受取額	43
手数料の受取額	808
利息の支払額	△9,098
法人税等の支払額	△131,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,905
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△76,145
有形固定資産の売却による収入	27
無形固定資産の取得による支出	△51,000
敷金の差入による支出	△62,061
敷金の回収による収入	3,236
関係会社株式の取得による支出	△2,430
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△462,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△650,468
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	300,000
短期借入金の返済による支出	△300,000
長期借入れによる収入	1,680,000
長期借入金の返済による支出	△84,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,595,332
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	808,958
現金及び現金同等物の期首残高	613,090
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,422,048

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社は、アパレル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。